

水レター「びわ湖・よど川」

創刊号 2008. 5. 26

独立行政法人 水資源機構 関西支社 発行

水レター「びわ湖・よど川」は、水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における水資源機構の取り組みに関する情報、さらに琵琶湖・淀川水系の水源地情報を、関西管内の関係者（利水者、関係府県、関係市町村及びその他の関係機関）の皆様
に、直接配信させていただきます。

目 次

1. 水レター「びわ湖・よど川」発刊に寄せて
2. 琵琶湖全国豊かな海づくり大会
3. 水資源機構第2期中期計画の概要
4. 日吉ダム管理開始10周年
5. 湖北の積雪状況について
6. 琵琶湖開発総合管理所ISO14001認証取得
7. お知らせ

1. 水レター「びわ湖・よど川」発刊に寄せて

水資源機構関西支社長 原 稔明

利水者並びに関係機関の皆様方には、常日頃より独立行政法人水資源機構にご支援ご協力を賜りまして心から御礼申し上げます。

私ども水資源機構は、水を一元的に扱うわが国唯一の実務的組織であり、水資源機構関西支社では、琵琶湖・淀川水系において、高山ダム、日吉ダム、一庫ダム、琵琶湖開発施設等の10の施設の管理と川上ダム、丹生ダムの2つのダム建設事業を実施しております。

このたび発刊いたしました水レター「びわ湖・よど川」は、まずは水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における取り組みに関する情報、さらに琵琶湖・淀川水系の水源地情報等を、関西管内の関係者（利水者、関係府県、関係市町村及びその他の関係機関）の皆様へ、直接お届けすることとさせていただきます。

初刊となります今回は、まず昨年11月の「全国豊かな海づくり大会」にご来臨されました天皇、皇后両陛下が、大会後に詠まれた和歌を紹介させていただきます。

琵琶湖に棲む在来魚種、固有種の魚類たちの復活を願い、魚類研究にご造詣の深い天皇陛下の御製（ぎよせい）と琵琶湖の環境の象徴であるヨシの復元を願う皇后陛下の御歌（みうた）に感動した次第です。

次にこのたび主務省より認可されました今年度から平成24年度までの5ヶ年の水資源機構第二期中期計画の概要と管理開始10周年となりました日吉ダムについて紹介しております。

ところで、昨年12月3日から4日に大分県別府市で開催されました第1回アジア・太平洋水サミットにおいて、福田総理大臣は次のように述べられております。「・・・水の問題は、気候変動問題との関わりも非常に深く、当然の事ながら洞爺湖サミットにおいても取り上げるべき課題であると考えます。水の問題について具体的にどう対応していくかを考えていくうちに、気候変動問題は重要、非常に急ぐ問題。真剣に取り組んでいきたい・・・」

このように、地球温暖化に伴う気候変動激化への対応が焦眉の急の近年、ダムへの期待が従前にもまして注目されてくるものと考えます。

21世紀は水の世紀と言われております。わが国の食料自給率の向上のための水資源の確保並びに地球温暖化対策の一環として流域内の異常渇水や異常洪水に

備えて、依然として水を溜める装置の整備に努める必要があります。しかしながら、資源としてのダム適地も減少しており、既設ダム群の再編成や連携の強化に加えて、既設ダムの長寿命化や計画以上の洪水を対象としたより適切なダム操作に取り組まなければならないときに来ております。

私たち水資源機構は皆様方からの声を真摯に受けとめ事業者としての説明責任を全うし、地域の安全、安心を一日も早く確保するため、事業者として全力を尽くしてまいりたいと考えております。

このたび、水レター「びわ湖・よど川」を発刊するに際しましては、安定した水の提供、洪水防御という所期の使命のみでなく、これからは、水に係わる技術、美しい水環境の提供、そして流域の生きた情報、水の織りなす世界の感動を水とともにお届けできればと思っております。

2. 琵琶湖全国豊かな海づくり大会

滋賀県で昨秋11月に開催された「全国豊かな海づくり大会」にご来臨された天皇陛下が、大会後に詠まれた和歌を記した石碑の除幕式が3月13日、大津市打出浜の琵琶湖岸でありました。石碑は高さ、横幅とも約1.6mの御影石製で、大会で天皇、皇后両陛下がニゴロブナを放流された場所に建てられました。

**『古き湖（うみ）に 育（はぐく）まれきし 種々（くさぐさ）の
魚（うお）安らかに 住み継ぐを願ふ』**

の和歌を天台宗の半田孝淳座主が揮毫（きごう）し、信楽焼の陶板に焼き付けているとのこと。除幕式には大会実行委員会に参加した県や大津市、漁業団体などの関係者約70人が出席され、委員長の嘉田由紀子知事が「天皇陛下のお言葉が、琵琶湖を再生していくうえでの後押しになる」と述べ、関係者が白い幕を引き石碑を披露されました。

【平成20年3月14日付けの京都新聞より】

※ 石碑はなぎさ公園打出の森（びわ湖ホール前湖岸）にあります。

また、皇后陛下もこの「海づくり大会」に寄せて

**『手渡しし 葎（ヨシ）の苗束 若人（わかうど）の
腕に抱（いだ）かれ 湖（うみ）渡りゆく』**

の御歌を発表されています。

歌の内容に因み滋賀県草津市北山田町地先（湖岸緑地山田新浜地区）に御歌碑が建立されています。

ところで、4月9日付けの京都新聞に奇しくも「ニゴロブナ復活の兆し」の記事が掲載されました。滋賀県水産試験場の平成18年度の調査結果として、調査を開始した平成6年以降で最多となる推定619万尾で、前年度の二倍近くに増えたとのことでした。

詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.water.go.jp/kansai/biwako/>

3. 水資源機構第2期中期計画の概要

独立行政法人は、国の関与を極力制限し、法人の自主性・自立性を発揮する一方で、公共性の高い事業を担うものであることから、その業務の実施を確実に実施することが求められています。中期計画は、独立行政法人通則法の規定に基づき、主務大臣より指示された中期目標を達成するための具体的計画を機構自らが定め、その業務の確実性を確保するため、主務大臣の認可を受けることが義務づけられています。

今般、機構としては、第2期目に当たる中期計画（平成20～24年度）を作成し、主務大臣（厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣及び国土交通大臣）より平成20年3月31日付けで認可されましたので、その概要をご紹介します。

一つ目に、国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置として、①的確な施設の運用と管理、②リスク（管理体制）への的確な対応、③計画的で的確な施設の整備、④環境の保全、⑤技術力の維持・向上と技術支援、⑥関係機関との連携、⑧広報・広聴活動の充実、⑨内部統制の強化と説明責任の向上について定め、二つ目に、業務運営の効率化に関する目標を達成するためとすべき措置として、①機動的な組織運営、②効率的な業務運営、③事務的経費の節減、④総人件費改革に伴う人件費の削減、⑤コスト構造改善の推進、⑥事業費の縮減、⑦適切な資産管理について定めています。

また、その他にも予算、収支計画及び資金計画や業務運営に関する重要事項など、きめ細かく定めています。

今後、機構といたしましては、この中期計画に基づき自主性・自立性を発揮し、業務の確実な実施に努めてまいります。

4. 日吉ダム管理開始10周年

平成20年4月1日、日吉ダムが管理を開始してから、満十年を迎えました。当日の京都新聞朝刊（丹波版）には、「洪水抑止、渇水対策に効果」との大見出しで、次の内容（要約）の記事が掲載されました。

『日吉ダムの洪水調節は13回。このうち最大は平成16年10月の台風23号による大雨。下流亀岡市保津橋の水位は6m32cmとなり、亀岡市等で浸水被害が発生しましたが、日吉ダムの放水量の調整がなければ、亀岡に大被害をもたらした昭和28年や昭和35年の水害に次ぐ史上三番目の水位7m30cmに達したと推定されます。また、平成14年の渇水では9月に貯水率が4.4%に低下しましたが、日吉ダムからの補給により川の流れは絶えることはありませんでした。ダムができて渇水による保津川下りの運休はなくなった。一方、ダム湖では淡水赤潮の発生やブラックバス等の外来魚の増加、保津峡では藻類の繁殖や夏場のおいといった、環境面への影響もある。』

この記事のとおり、日吉ダムは治水・利水面で、所期の目的を十分に発揮していますが、環境面においては、その影響を軽減するため、特に水質改善に向けた取り組みを行っているところです。なお、保津峡での夏場のおい記述については、これは平成14年の秋口に植物プランクトン「アナベナ」が発生したことがあり、このことを指しているのではないかと考えられます。

そして、日吉ダムの特徴として忘れてならないのは、日吉ダムを観光の核として地域の活性化を目指す「地域に開かれたダム」に指定され、水源地域の期待を一心に背負って管理がスタートしたことです。ダムの内部には、日本初となる堤体内見学施設「インフォギャラリー」が設置され、また、地元によりダム下流には天然温泉を持った「スプリングスひよし」等が建設されました。この他、「府民の森ひよし」や「宇津峡公園」などの観光施設も続々とオープンしました。これらの観光施設とイベント等の地域ぐるみの取り組みによって、日吉ダム周辺は今では南丹地域の代表的な観光スポットに変貌しました。現在、日吉ダム周辺には年間55万人（平成18年度ダム湖利用実態調査）が来訪しています。詳細については、「水とともに5月号」で紹介される予定ですので、そちらをご覧ください。以上、簡単ではございますが、日吉ダムの管理10年について、お知らせします。

日吉ダムは、引き続き、より良いダム管理と「地域に開かれた日吉ダム」として、水源地域の活性化と上下流交流の推進に向けて取り組んでまいります。

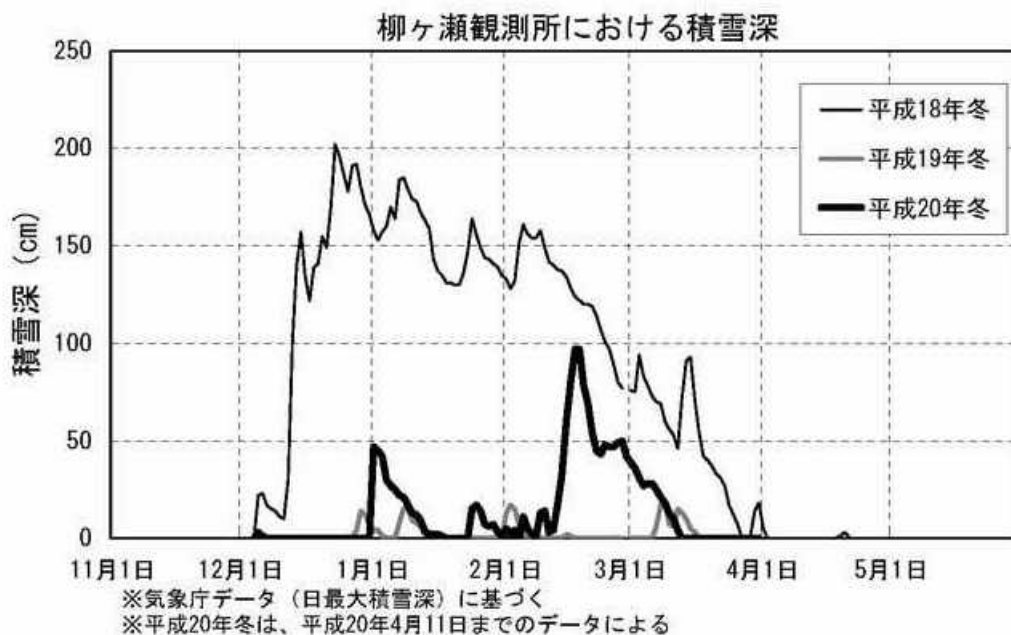
水資源機構日吉ダム管理所長 小野寺 直

日吉ダム管理所のホームページはこちらです。

<http://www.water.go.jp/kansai/hiyoshi/index.html>

5. 湖北の積雪の状況について

丹生ダム建設所の調査によると、柳ヶ瀬観測所（滋賀県伊香郡余呉町）の積雪状況は、平成19年末はほとんど雪が積もらず、今年になって1月初旬と2月中旬に降雪が集中しており、積雪深は最高値が97cmで、一日に47cm積もった日もありました。また、最初に降った雪が根雪にならず、一旦なくなっているところが平成20年冬の特徴です。冬の年となっています。（積雪グラフをご覧ください。）



丹生ダム建設所のホームページはこちらです。

<http://www.water.go.jp/kansai/niu/index.html>

6. 琵琶湖開発総合管理所 ISO 14001 認証取得

琵琶湖開発総合管理所（滋賀県大津市）では、平成19年4月からISO 14001に沿った環境マネジメントシステム（EMS）の運用を開始し、開始後は職場内の研修を始め職員等一人一人の環境への意識向上を図りながら、目的・目標である、琵琶湖の生態系の保全、事務活動では紙・ゴミ・電気などの省資源・省エネルギーなどの環境保全の取り組みを行ってきました。その結果、平成20年3月14日に（財）日本品質保障機構による登録審査を経てISO 14001の認証を取得することができました。水資源機構関西支社管内では川上ダム建設所（平成19年3月30日認証取得）に続き2番目の取得となります。琵琶湖開発総合管理所では今後とも環境マネジメントシステムに従い、継続的な改善を図り、良好な環境保全のために取り組みを行っていきます。

※ ISO（アイソ）14001は、組織活動が環境に及ぼす影響を最小限に食い止めることを目的に定められた、環境に関する国際的な標準規格。

7. お知らせ

○ 水のめぐみ館アクア琵琶から

第1回琵琶湖講座が「水のめぐみ館アクア琵琶」で開催されます。

滋賀県立大学准教授の浜端悦治先生に「琵琶湖の水草」の演題でお話しして頂きます。事前申込み受付中です。沢山の方の参加をお待ちしています。

日時：平成20年5月28日（水） 13：30～（約1時間30分）

なお、第二回として6月19日、龍谷大学教授の竺文彦先生に「琵琶湖の水質とビオトープ」（仮題）の講演を、第三回は7月16日、琵琶湖環境科学研究センターの一瀬諭先生に「琵琶湖のプランクトン」（仮題）の講演をして頂く予定です。

アクア琵琶のホームページはこちらです。

<http://www.aquabiwa.jp/index.html>

○ 木津川ダム総合管理所から

比奈知ダムの管理開始10周年を記念して、名張川源流の碑の建立を行います。建立に伴い鈴木御杖村長を始めとする地元の関係各位のご参列を得て除幕式を執り行います。

日時：平成20年6月24日（火） 10：30～

場所：奈良県宇陀郡御杖村

木津川ダム総合管理所のホームページはこちらです。

<http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/index.html>

○ 一庫ダム管理所から

何でもクラフト大作戦 一庫ダム周辺の山に増えすぎてしまった竹を切り、その竹や雑木で笛や知恵の輪などの細工をすることで、竹の浸食を減らすことを目的としたイベントを実施します。

日時：平成20年6月21日（土） 9：00～12：00

場所：一庫ダム管理所（兵庫県川西市一庫字唐松4-1）

参加方法：6月19日までに一庫ダム管理所の電話又はEメールで申込み

電話：072-794-6671 Eメール：hitokura@po.aianet.co.jp

参加費用：無料です

主催：一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会

協力：豊能町コピスクラブ

一庫ダム管理所のホームページはこちらです。

<http://www.water.go.jp/kansai/hitokura/index.htm>

編集後記

水レター「びわ湖・よど川」創刊号を発刊いたしました。琵琶湖・淀川に関わる様々な情報を定期的に（3ヶ月に一回程度）皆様にお届けする予定です。また、一刻も早くお知らせした方が良い情報については、号外も出していこうと考えております。

水源地と下流域の皆様の声がこの場を介して行き交い、活発な交流が行われることをお手伝いできるような努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

「びわ湖・よど川」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、また配信先の追加、変更などがあるときも下記アドレスまでご連絡下さい。（耳寄りな情報もお待ちしています。）

<mailto:w-kansai@msg.biglobe.ne.jp>